



竹田陽一

戦略社長塾を開発した人。

主に中小企業の社長を専門に指導する教材をフルラインで備えている。

ランチェスター戦略を語れる日本有数の人物の中のひとり。
ランチェスター戦略に限らず、ドラッカー経営学についても相当に勉強されている。

この方を頂点とした、代理店グループの多くの方々が、日本全国でランチェスター戦略の指導をされている。

末席の新入りではあるが、社長塾、塾長として自分もその仲間入りを果たした。

「戦略社長塾」を展開していく中で、この人の教えと教材を活用しながら、
大いに学びを重ねていきたい。



山内修

福岡市博多区で「経営者の学校」を主催する経営コンサルタント。

前述の竹田陽一氏に師事し、その経営グループでは、今や筆頭格の実力者であろう。

ランチェスター法則・戦略を地道に学び、多くの地元経営者が、彼の「経営者の学校」で学び、同時に企業顧問としても多忙を極める
今後も、その活動は益々充実していくであろう。

この人に大いに刺激され、この人からも学び、全く同じ路線を歩むことは
難しいが、私自身の経営コンサルタントとしての新たな人生を、充実したもの
にしていきたい。



福田秀人

ランチェスター戦略学会副会長。立教大学大学院教授他、多数の肩書きを持つ学者。

ランチェスター戦略を学ぶにあたって、この人の著書、

「ランチェスター思考 競争戦略の基礎」

「ランチェスター思考Ⅱ 直観的「問題解決」のフレームワーク」

この2冊に大いに感銘を受けた。今後も継続して読み返したい文献である。

同時に、この人は危機管理、いわゆるリスクマネジメントも専門分野にあるようである。

ランチェスター戦略とリスクマネジメントをリンクさせているような論旨にも個人的に大いに関心がある。

学び続ける人のひとりとして長く留めておきたい。



福永雅文

ランチェスター戦略学会常務理事。ランチェスター戦略コンサルタント。

この人の著書、

「ランチェスター戦略「小さなNO.1」企業」

「世界一わかりやすいランチェスター戦略の授業」

この2冊からも大いに学べる。

ランチェスター戦略をマーケティング理論として学び、企業活動の実践に役立てるには、この人の指導も大いに有益であろう。

この人のオリジナルかと思うが「ミSSIONナリー・ダイヤモンド」という分析・表現は本質を突いていて分かりやすく、大いに参考にして役立たせてもらおうと思う。



小山 昇

株式会社武蔵野 代表取締役

名前しか知らなかったこの人の著書を3冊読んでみた。

「5年で売上2倍の経営計画をたてなさい」

「経営の見える化」 「経営の心得」

経営コンサルタントで士業として活動始める自分にとって、

実際のところ、経営コンサルタント専業の方よりも、企業経営の現役の

経営者が指導するコンサルティングの方が、より大きな説得力を秘めている

と常々考えている。 小山氏はオーナー経営者らしく、歯切れもよく、自信に

溢れているように著書から見受けられる。 歴史上の人物になっている人、な

りつつある人の著書も素晴らしいが、この人から、目の前の現実の出来事を

どう裁くか、そういう教えを受ける思いである。



田中真澄

ヒューマンスキル研究所所長

元日経マグローヒル社編集長を経て独立。講演・著書出版一筋で活動中。

昨年(2013年)この人の講演を聴く機会があった。

その後、メールでのやりとりの中で、新著「田中真澄の88話」を進呈して
くださった。

一日2話(1話2ページ)読んで。2ヶ月以内に読み終えて、年間6回は繰り返し読み直すことにしている。

教訓となる88話に溢れているが、その中のひとつ。リラックスして、両親の
笑顔を思い浮かべながら

「お父さん、お母さん、私は、いただいた能力を、これから十二分に発揮し
生きてゆきます」 この教えは、最高ランクの学びの一つだと思う。



渡邊義浩

大東文化大学文学部中国文学科助教授（2003年現在）

趣味の一つとして「三国志」関連の著書の数々を愛読している。

いろいろな著書に出会う中で、この人が解説する「図解雑学 三国志」が

非常に分かり易く、同時にその時代の諸々の歴史的背景を概略で学べた。

現在は、三国志の全体像を大筋で理解しているレベルに過ぎないが、今後も、

日常的に三国志関係の文献に少しずつ触れながら、専門家とまではいかな

いにしても、三国志について語れるようなレベルにまで知識量を増やしていこ

うと思う。結果として、歴史から学ぶ「原理原則」を習得していければと思う。



一倉 定

事業経営の成否は、社長次第で決まるという信念から、社長だけを対象に情熱的に指導した異色の経営コンサルタント。

「一倉 定の経営心得」（日本経営合理化協会）を読んでいるに過ぎないのだが、この人の人格的な激しさが伝わってくるような思いである。

大中小5000社の指導の実績があるとのこと。

内容的にドラッカーや松下幸之助、稲盛和夫と（もちろん、表現は異なるが）ダブって見えるような印象も私にはある。

本質を捉えれば、当然の如く、似たようなものになっていくのではないかと
思う。この著書も、繰り返し繰り返し読み続けたい。